



# IWATE BANK NEWS LETTER



平成 25 年 12 月 26 日

株式会社 岩手銀行

## 高校生など向け金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」の展開について ～県内初！若年層のニート化予防を目指したプログラムを実施します～

岩手銀行（頭取 高橋真裕）は、株式会社新生銀行（東京都中央区、代表取締役社長 当麻茂樹）と特定非営利活動法人育て上げネット（東京都立川市、理事長 工藤啓）の協力のもと、岩手県の高校生などを対象とした金融教育活動を展開していくことといたしましたので、お知らせいたします。

今回、実施していく金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」とは、平成 18 年度に新生銀行の連結子会社新生フィナンシャル株式会社が育て上げネットと共同して開発したもので、若年層のニート化予防を目指して、高校生などを主な対象に働くこととお金、将来について考えるきっかけの提供を目的に、ワークショップ形式で実施するプログラムです。（概要は別紙を参照願います）

当行の「CSRの基本方針」において重点項目（キーワード）として掲げる「豊かなこころ…若い世代の「こころ」を育む、地域の人づくり」につながる活動として、今般、新生銀行および育て上げネットと覚書を締結し、岩手県における本プログラムの実施を当行が担っていくこととなりました。

今後は、講師として認定をうけた当行行員が岩手県内各地の高校などで、当プログラムを実施してまいります。

当行は、こうした金融教育活動を通じて地域のみなさまとのコミュニケーションを図り、一層の信頼と親しみを感じていただける銀行を目指すとともに、今後も地域社会の永続的な発展に貢献してまいります。

地域とともに。  
 **みどりの銀行のイーハトーヴ宣言！**

<お問い合わせ先>

岩手銀行 総合企画部 広報CSR室 勝部（外線 624-8212）

**岩手銀行**

## 金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」について

### MoneyConnection®(マネーコネクション®)とは

昨今、就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない「ニート状態」にある若者の存在が社会問題となっています。MoneyConnection®(マネーコネクション®)は、ニート状態に陥る原因の一つに「お金に関する正しい知識や金銭感覚の欠如」があることに着目し、特定非営利活動法人育て上げネット(理事長:工藤啓 所在地:東京都立川市)と新生銀行グループが共同で開発した、主に高校生などを対象とする日本初のニート化予防を目的とした「金銭基礎教育プログラム」です。

生きていくために必要となるお金や物の価値について考え、多様化する雇用形態や、働き方による生活スタイルの違いを知り、より長期的な視野で「お金」と「人生」について考える機会を提供します。

### プログラムの内容

“働くこととお金”について学ぶ「稼ぐ」編、モノの価値と自分の価値観について学ぶ「使う」編で構成され、各々1コマ 50分で実施できる内容となっています。一人暮らしを始めたなら生活費がいくらかかるのかを計算し、年齢、職業、雇用形態、月収などを設定したカードを使いながら将来の生活をシミュレーションしたり、グループで話し合うことで、楽しみながらお金の本質を考えます。平成22年度には、経済産業省主催の「第1回キャリア教育アワード」で優秀賞を受賞しました。



#### 【プログラムのねらい】(※主に「稼ぐ」編を実施します)

##### 「稼ぐ」編:働くこととお金について考える (50分)

- 一人暮らしのための生活コストを理解する
- 稼ぎ方/働き方により生活スタイルも変わることを感じとる
- 長期的な視点に立って、稼ぎ方/働き方を慎重に選択することの大切さを伝える

##### 「使う」編:モノの価値とお金について考える (50分)

- 「必要なモノ」と「あった方がいいモノ」の違いから、自分の価値観を把握。相場観も身につける
- 価値観は立場や状況によって変化することを理解。個々の価値観にゆさぶりをかける
- 「使う(消費する)」ことが社会にもたらす影響を解説。自分と社会とのつながりを感じとる

岩手県における本プログラムの実施を岩手銀行が担うこととなり、今後は、学校の依頼に応じて、講師として認定を受けた岩手銀行の行員を派遣して授業を行います。

### プログラムの特色(「稼ぐ」編)

- 「お金と働き方」を考える“きっかけ”を作る
- 「生きていくために必要なお金」を“リアルに体験”させる
- 「生徒参加型体験プログラム」なので生徒が“楽しく参加”できる

### プログラムを通じて伝えたいこと

- 生きていくためにはお金が必要
- (自分の可能性を広げるための)貯蓄も大事
- 将来の生活をイメージして慎重に働き方(進路)を選択